

授受関係における上下方向性の日中比較

日本語の授受補助動詞を中心に

周莉莉*

Comparison of Japanese and Chinese about the direction of up and down in the relationship between giving and accepting with a focus on the verbs of giving and accepting in Japanese

Lili Zhou*

Abstract

About the expression of giving and accepting in Japanese, the differences between honorific and unehonorific expression of giving and accepting verbs are very difficult to Chinese learners. It's said about the expression of giving and accepting, that there are seven giving and accepting verbs and these verbs have a complicated system like honorific and unehonorific expression, inside and outside expression in Japanese, but Chinese is very easy and just has one verb without any systems by okutukeiitirou. In fact, because there are honorific and unehonorific expression in Japanese, there is a direction of up and down in the relationship between giving and accepting. On the other hand, in Chinese, the verb for giving and accepting doesn't have a difference between honorific and unehonorific expressions, so maybe there is no direction of up and down just from the verb.

In this paper, comparison of Japanese and Chinese about the direction of up and down in the relationship between giving and accepting will be looked at with a focus on the verbs of giving and accepting in Japanese.

キーワード：授受関係、上下方向性、日本語、中国語、比較

1. はじめに

日本語の授受表現が中国人学習者を困らせる一つの原因は、敬語と非敬語の区別がある日本語複雑な授受動詞体系だと言ってもよい。奥津敬一郎は日本語授受表現を中国語授受表現と比較した結果、複雑な授受動詞体系を持つ日本語授受表現と違って、中国語の授受動詞には、体系的な敬語・非敬語の区別、身内へ・よそのものへの区別がなく、単なる与え動詞である「給」しかないと述べている¹。確かに、日本語には「くれる/くださる」、「やる/あげる、さしあげる」、「もらう/いただく」といった七つの授受動詞があり、体系的に非敬語か敬語かに分かれながら、日本社会では盛んに使用されている。敬語と非敬語の区別があるからこそ、恩恵が上から下へといくか、下から上へと移動するかという上下の方向性が、日本語授受関係には現れてくるのである。しかし、中国語表現には授受動詞「给」² 自体がそういう区別がないので、単に動詞そのものから見れば、上下の方向性がないと

* 教養部

言ってもよいのである。

本稿では、『中日対訳コーパス』²に収録されている『雪国』、『砂の女』など二十一冊の日本語小説の原文及び中国語訳文を基に、両国語の授受関係における上下の方向性について、日本語の授受補助動詞を中心に、比較しながら考察してみたいと思う。

2. 日本語授受補助動詞及び中国語人称代名詞の比較

ここでは、日本語の授受補助動詞と中国語の人称代名詞に視点を置き、日中両国語の例文を比較しながら、次の四つの部分から分析してみようと思う。

2.1 「～てやる/あげる」及び中国語第二人称代名詞の比較

1) タバコ、吸うんだったら、火をつけてやろうか？

想抽烟的话，我来给你点上？

2) 閑間さん、わたしが拭いてあげましょうか。

闲间先生，我给你擦吧！

3) 本当に、途中で、三度も起きて、顔の手拭をかけなおしてあげたんですよ。

真的呢，我爬起来三次，给您重新盖上手巾呢。

4) つけてさし上げますわ。

给您钉上。

5) いいわよ、侍ってあげる。あなたのことを信頼してるから」と彼女は言った。

“那好，我等你，因为我相信你。”她说。

6) いつ行くんだ。今から行こう。僕もいっしょに行つてやる。

什么时候去？现在就去，我跟你一块儿去。

日本語の授受補助動詞では、「～てやる」は恩恵が目上（主語である）から目下（対象語である）へと移動することを表すから、日本語は「～てやる」を使うと、授受関係における上から下へとの方向性が明らかにできる。そして、「～てやる」の敬語である「～てあげる/さしあげる」は、目下から目上へとの恩恵移動に用いられる。ただし、「～てあげる」は対等的な人とのやりとりにも用いられるので、その使用によって、日本語は、平行的に移動する恩恵方向のみならず、下から上へとの方向性も持つのである。

一方、中国語については、その訳文を見てみると、「为，帮，给」⁴といったものが含まれていることが分かる。それらのもの自体が上下の方向性を持っていないとは言え、授受関係に上下の方向性がないとは言えないのである。ご存知の通り、中国語の第二人称代名詞には敬語（您/你们）及び非敬語（你/你们）⁵の区別がある。その故、以上の中国語の訳文では、「給+你」が使われると、対象が目下であり、恩恵が上から下へと移動することになるが、「給+您」が用いられると、対象が目上であり、恩恵が下から上へと動くこと

になる。そうすると、中国語では、「为，帮，给」といった語及びその後につく敬語及び非敬語の区分がある第二人称代名詞が共に使用されることによって、授受関係にある程度の上下の方向性をもたらすのである。しかし、例 5)、6) のように、「为，帮，给」などがない場合は、文の表面から見れば、恩恵のやりとりに触れたことが全然ないから、恩恵の上下方向性にも全く関わっていないのである。

2.2 「～てもら/う/いただく」及び中国語第二人称代名詞の比較

引き続き以下の例を見てみよう。

- 7) 少しぐらい欠点があっても、貴女のところなら我慢しますがね、それにミシンのあることは有難い、いろいろ手伝ってもらえる。

如果是您那里，即使有点缺欠也可以将就。再说，有缝纫机也很难得，这个那个的正好能请您帮帮忙。

- 8) それから銀座で時間があつたら、ちょっとだけのぞいていただきたいショーウィンドーがあります。

要是再有时间，有个橱窗也想请您看一眼。

- 9) ひどく小さい声で、相手は言った。自分も声を低くするから、曾根にも声を低くしてもらいたいといった表情だった。

对方声音低微。表情仿佛在说：既然我如此小声，请你也别再粗声大气好了。

- 10) 嘘だと思ったら、帳簿を見せてもらえ、いっぺんで分りますから……

你以为是假的吗？不信让你瞧瞧帐簿，你立刻就会明白的……

- 11) わたしたちばかり買っていただくのいやです。ママさん、御自分のも買って下さい。

我们不愿让您光为我们买，您自己也买点嘛！

- 12) 私は、あなたを、なんと言ったらいいか、謂わば精神的には幸福を与える事が出来な
いかも知れないが、その代り、物質的にはどんなにでも幸福にしてあげる事が出来る。

我能使您……怎么说好呢，说起来也许在精神上不能给您幸福，但是在物质方面却尽可以使您幸福。

- 13) とにかく、来ていただいて助かりましたよ。

不管怎样，您来得太好了！

- 14) 仕掛け花火はあきらめたよ。まあ今年は我慢してもらうことにしよう。

地面烟花算是看不成了，今年你就忍耐一次吧！

以上の例においては、日本語は授受補助動詞の「～てもらう/いただく」を使っている。「～てもらう」は恩恵が目下から目上まで動くことを表すので、日本語の「～てもらう」文は、下から上へとの方向性を持つのである。また、「～ていただく」は「～てもらう」の敬語であり、恩恵がその逆に、目上から目下まで動くことを意味するので、日本語の「～ていただく」文は、授受関係に上から下へとの方向性をもたらすのである。

一方、中国語の訳文を分析してみると、例8)－12)には使役意味を持つ「请, 让, 使」⁶などの語が含まれていることが分かる。それらの語自体には上下の方向性がないが、その後につく第二人称代名詞（非敬語の「你」と敬語の「您」がある）と一緒に用いられることによって、中国語文は、ある程度においては、要求（或いは許可）に関する上下方向性を表せるのではないか。例えば、「请+你」を使うと、対象が目下であり、要求が上から下へと動く方向性を持ち、「请+您」では、対象が目上であり、要求が下から上へと動くという方向性を持つのである。しかし、例13)、14)のように、「请, 让, 使」などの語がない場合は、字面的に見ると、要求（或いは許可）の動きに一切関わっていないため、それに関する上下方向性も全く持たないのである。

2.3 「～てくれる/くださる」及び中国語第一人称代名詞の比較

15) また、山のお話聞かせて下さいませ。

请您再给我谈谈山

16) だから何も心配してくれなくてもいいんだ。……ちゃんとしてるよ。

你不用为我担心, ……我自己会处理好的。

17) あなたは自分のことしか考えていないのね。私のことなんか本気で考えてくれたことはないのね。一度もないのね。

你只考虑你自己, 根本没有认真地替我想一想。

18) 父親は辺りを見まわして「もう駄目じゃ、勘弁してくれ。わしは逃げる。勘弁してな」と云ったかと思うと、丸太を放り投げて逃げ出した。

父亲看了看周围说：“不行啦。原谅我吧，我要跑了。原谅我吧。”刚一说完，扔下圆木头就跑。

日本語授受補助動詞においては、「～てくれる」は、もともとは恩恵が目下（他人側）から目上（自分側）へと動くという下から上までの方向性を表し、その敬語である「～てくださる」は、目上（他人側）より目下（自分側）まで恩恵が動く上下方向性を意味する。以上の例文では、日本語の「～てくれる/くださる」文は、授受補助動詞そのものが下から上へとの方向性を持つからこそ、授受関係に上下方向性をもたらすようになった。

一方、中国語については、例文15)－17)には「给, 为, 替」などが含まれているが、その後につく第一人称代名詞（我）に非敬語と敬語の区分がないのにもかかわらず、相手である「您」と「你」は非敬語と敬語の区分があるので、「您・你+给・为・替+我」の使用によって、恩恵に関する上下方向性が相手から話し手へと移動することになっている

のである。ただし、例 18) では、「給、为、替」がないため、恩恵の方向性は一切現れていないのである。

2.4 「～てやる/あげる/さし上げる」、「～てもらう」及び中国語第三人称代名詞の比較

19) 青年は声をつまらせて、少年のそばにしゃがんでバンドをはめてやった。

青年说不出话来了，蹲在少年身旁，给他扎上皮带。

20) アルゴールを塗ってあげたけれども、少しもききめが無いようで、私は妙にいらいらしていた。

我给她涂了卢戈耳氏溶液，好象没用处，因此我很不放心。

21) きょうは一つ、強いお注射をしてさし上げますから、お熱もさがる事でしょう。

今天鄙人为她注射一针强效针，热度或许即能下降。

22) あきらめてしまったつもりなんだけど、おいしいスープをいただいて、直治を思っ、
たまらなくなつた。もっと直治に、よくしてやればよかった。

我以为我已经想开了，可是一吃到美味的汤，就会想起直治来，难受得不得了。我们过去待他好点就好了。

23) 運転手は中年の親切そうな人物だったので、八千代はその自動車で三津まで行っても
らうことにした。

司机是中年人，态度很热情。八千代便请他开车把自己送往三津。

24) 本当はいま直ぐに求婚してもらいたい。彼女はそれを予定して今夜の約束をしたのだ。

她的真心是让他马上向她求婚。她有了这个打算才确定今晚的约会。

以上の日本語の例文は皆「～てやる/あげる/さしあげる」、「～てもらう」を用いている。1 と 2 で分析した通りに、それらの授受補助動詞自体が恩恵に関する上下の方向性を持つから、ここでは、授受関係を表す際に、日本語文も上下方向性を持つのである。

それに対して、中国語の訳文について見てみよう。上の例には、恩恵を与える意味を持つ「给、为」、使役の意味がある「请、让」は含まれているかどうかにもかかわらず、3 の場合と同じように、その後につく第三人称代名詞（他/她）には非敬語と敬語の区別がないため、中国語文に恩恵（或いは要求）に関する上下方向性が全くないのである。

3. 終わり

以上、授受関係を扱う際に、日中両国語における上下方向性に関して、比較し分析してみたが、両者の異同点を表で示すと、以下の通りである。

表 日中両国語における上下方向性の異同

共通点	上下方向性存在		
相違点	日本語	性質	恩恵の上下方向性
		強弱性	強
		表し方	授受補助動詞
	中国語	性質	恩恵の上下方向性 要求の上下方向性
		強弱性	弱 (上下方向性がない場合もある)
		表し方	「帮、给、替、为」 + 你/您 「请、让、叫」 你/您+「帮、给、替、为」

つまり、日本語は、授受補助動詞そのものが上下方向性を持つから、授受関係も上下方向性を持つのである。それに対し、中国語では、「为、给、替、请、让」といった語そのものが上下方向性を持っておらず、後につく第二人称代名詞の敬語（您）/非敬語（你）と共に使われることによって、授受関係における上下の方向性を表すのである。

しかし、なぜ、日本語授受補助動詞には体系的な敬語及び非敬語の区分があり、授受表現を一層複雑にさせることになってしまいかと言え、日本人社会が本来タテ社会だということにかなり関係があるのではないかと思う。

中根千枝は『タテ社会の人間関係—単一社会の理論』⁷において、日本は、お互いの地位の違いに最大限注意を払い、それに基づいて行動するいわゆる「タテ社会」に特徴があると述べている。また、中根氏は「このタテ関係は官僚組織など同列におかれぬ関係であり、同一集団内、同一資格保持者間でも『差』の設定が存在することによって精緻な序列が形成される。この傾向が強いため、日本では能力制ではなく序列制に比重がおかれる。この序列制は終身雇用制と密接関係にあり、根底に能力平等主義が存在する。」と、日本のタテ社会の本質を指摘した。確かに、日本の会社では、人の能力にかかわらず、給料でも、昇進でも、すべて年功序列によって決められることはよく耳にするのである。しかし、現在では、経済のグローバル化または日本経済の長期的な低迷の影響で、日本人は年功序列より、個人の能力をさらに重視するようになった。何と言っても、日本社会はやはりタ

テ社会であり、日本人は地位の区別を重視してきたのである。地位というのは、日本では最も大切なシンボルであって、地位の違いを維持するために、社会的な規則が数多く作られている。大抵の場合、地位の上下関係の基本的パターンは、目下の者が目上の者にお仕えし、盛り立てることによって、自分の道を開ける仕組みになっている。このように、敬語というものは上下関係をよりよく区別する言葉として、そのタテ社会から生じてきたのである。従って、授受関係を扱う際に、中国語のようにただ「給」を使えば簡単に済むことが日本語はできず、まず相手の地位と年齢を先に考えて、自分より目上か目下かを区別して、複雑な授受動詞から適当な非敬語或いは敬語を選ぶのである。

つまり、日本の「タテ」社会は日本人に「タテ」の意識を与え、日本人の「タテ」の考え方は日本語に敬語の使い方をもたらしてきたのである。

注釈

- 1、奥津敬一郎(1983年)「授受表現の対照研究―日・朝・中・英の比較」『日本語学』1983.4号 pp. 22-30 による。
- 2、『中日辞典』によると、「給」は与える、やる、くれるという意味で、動詞「給」自体には動作の方向性はないというのである。p. 465
- 3、企画・開発機関 北京日本学研究中心 研究代表者 徐一平 馮志偉 嚴安生 収録内容 中国 23 篇、日本 22 篇とその訳本を合わせて 105 件 2003 年 7 月
- 4、『現代汉语词典』によると、「帮、给、替、为」などの語は「助ける、手伝う、～してやる」の意味で、動作、行為の受益を導くので、文字そのものが人に恩恵を与えるという意味を持つという。p. 56, pp. 657-658, p. 1998, p. 1887
- 5、『中日辞典』によると、「您」：人称代詞、あなた、あなたさま。「你」の敬称；複数は「您们」。
「你」：単数の第二人称に用いる、君、あなた、おまえ、敬意を込めるときは您を用いる；複数は「你们」という。p. 1018, p. 1009
- 6、『現代汉语词典』によると、「请、让、叫、要、使」は人に何かの要求を出し、その要求に従って何かをさせるという強制的(或いは使令的)な意味を表すというのである。p. 1609, p. 979, p. 1577, p. 1749
- 7、中根千枝 『タテ社会の人間関係―単一社会の理論』p. 72 講談社現代新書 1967.02.16 発行

例文の出所

- 1)、3)、10)『中日対訳コーパス』に載った『砂の女』
- 2)、18)、19)『中日対訳コーパス』に載った『黒い雨』
- 4)、7)、8)、9)、11)、13)、14)、15)、23)『中日対訳コーパス』に載った『あした来る人』
- 5)『中日対訳コーパス』に載った『ノルウェイの森』
- 6)、16)、17)、24)『中日対訳コーパス』に載った『青春の蹉跎』
- 12)、20)、21)、22)『中日対訳コーパス』に載った『斜陽』

参考文献

- 1、編集委員 荻野 綱男・近藤 泰弘・杉戸 清樹・高木 展郎・井上 優・笹原宏之・渋谷勝己
『日本語学』 pp. 22-30 株式会社 明治書院, 1983. 4
- 2、『中日対訳コーパス』に載った『砂の女』、『黒い雨』、『あたし来る人』、『ノルウェイの森』、『青春の蹉跎』、『斜陽』
- 3、中国社会科学院言語研究所詞典編集室 編『現代漢語詞典』 外語教學與研究出版社 2002 年増補本
- 4、北京・商務印書館、小学館 共同編集 『中日辞典』 株式会社 小学館 1997. 03. 25 初版 15 刷
発行
- 5、中根千枝 『タテ社会の人間関係—単一社会の理論』 p. 72 講談社現代新書 1967. 02. 16 発行

(平成 24 年 3 月 31 日受理)